

セキュアエンドポイントMACプロキシ自動設定 (PAC)セットアップガイド

内容

[概要](#)

[サポートされるオペレーティングシステムのバージョン](#)

[セットアップ](#)

[追加情報](#)

[制約事項](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Secure Endpoint Macコネクタ1.22.0以降でのプロキシ自動設定 (PAC)のセットアップガイダンスについて説明します。

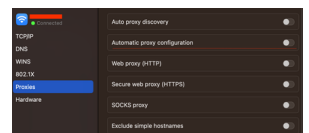
サポートされるオペレーティングシステムのバージョン

- macOS Big Sur(11.0)以降

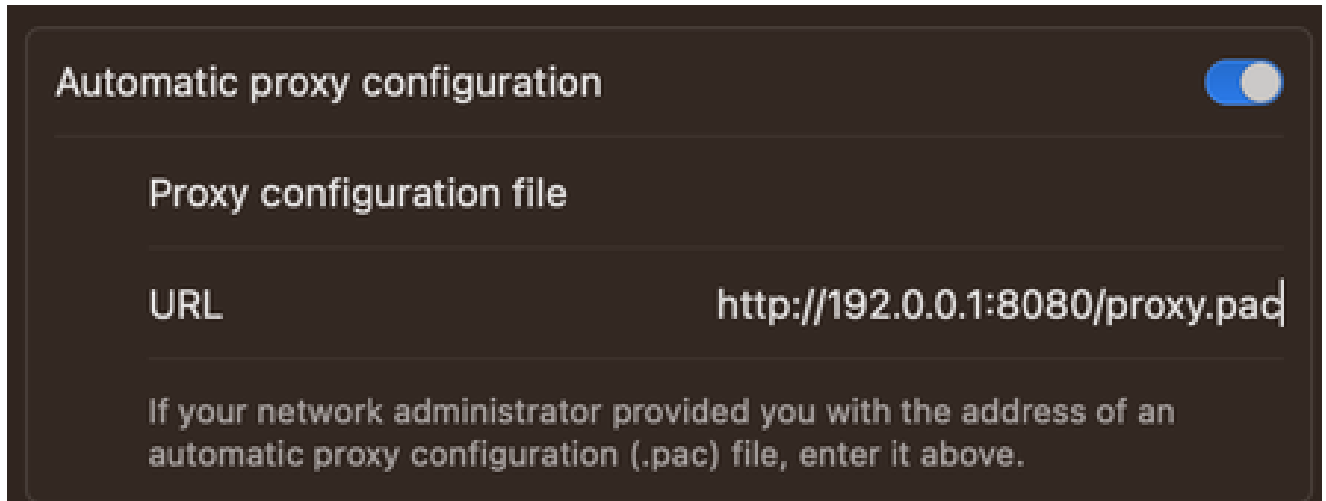
セットアップ

IPアドレスとプロキシサーバタイプを指定する有効なPACファイル (macOSはHTTP、HTTPS、およびSOCKSプロキシをサポート) を準備し、HTTPまたはHTTPS (認証なし) サーバでPACファイルをホストします。

システム管理者は、次の手順を実行してこの機能を有効にできます。



1. プロキシシステムネットワーク設定で自動プロキシ設定を選択します。
2. PACファイルへのURLを指定します。たとえば、<http://192.0.0.1:8080/proxy.pac> : を入力します。



3. WebコンソールのProxy TypeドロップダウンリストでMacOS Auto Proxy Configurationを選択し、PACポリシーオプションを有効にします。
4. ターミナルセッションで`ampcli sync`コマンドを使用してコネクタポリシーを同期します。

コネクタは、PACファイルで指定されているプロキシ接続情報を自動的に使用しようとします。

追加情報

- コネクタは、PACファイルによって提供されるプロキシ情報を30分ごとに照会します。
- 有効なPACファイルの例を次に示します。

```
function FindProxyForURL(url, host) {  
// If the hostname matches, send direct.  
  if (dnsDomainIs(host, "someurl.cisco.com") ||  
      shExpMatch(host, "(*.cisco.com|cisco.com)"))  
    return "DIRECT";  
// If the protocol or URL matches, send direct.  
  if (url.substring(0, 4)=="ftp:" ||  
      shExpMatch(url, "http://cisco.com/folder/*"))  
    return "DIRECT";  
// DEFAULT RULE: All other traffic, use below proxies, in fail-over order.  
  return "PROXY 4.5.6.7:8080; PROXY 7.8.9.10:8080"; }  
}
```

制約事項

- PACファイルは、認証が必要なサーバでホストできません。
- セキュアエンドポイントは、非認証プロキシを指定するPACファイルのみをサポートできません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。